

令和元年 7 月 19 日

エシカル消費 普及・啓発シンポジウム  
「エシカル・ラボ in 石川」の開催について

標記のシンポジウムを以下のとおり開催しますので、お知らせいたします。

**目的**

「エシカル・ラボ」は、「エシカル消費」の概念の普及や、地方公共団体や様々な主体との連携によるムーブメント作りを目的として、平成 27 年から開催し今回で 7 回目になります。

本イベントは、「いしかわ環境フェア 2019」の開催に合わせて、石川県で活躍されている事業者、学生などの多様なステークホルダーが協働し、シンポジウムを開催するほか、同会場にてワークショップや展示コーナーを実施します。

**エシカル・ラボ 概要**

※プログラム、申込方法については 2 枚目を御覧ください。

日 時：令和元年 8 月 24 日（土）・25 日（日）9:30～16:30

場 所：県産業展示館 4 号館（金沢市袋島町南 193 番地）

※「いしかわ環境フェア 2019」（石川県主催）と同時開催

定 員：200 名程度 ※参加費無料

主 催：消費者庁、石川県

**【シンポジウム】**

日 時：令和元年 8 月 24 日（土）12:00～15:00

**【ワークショップ・展示コーナー】**

\*「こども向けワークショップ」（60 分間）各回 20 名

日 時：8 月 24 日（土）15:00～16:00

8 月 25 日（日）①10:00～11:00、②14:00～15:00

\*「木づかいワークショップ」（30 分間）各回 4 名

日 時：8 月 25 日（日）①11:30～12:00、②13:00～13:30、③15:30～16:00

\*「エシカル展示」

日 時：8 月 24 日（土）、25（日）9:30～16:30

**報道関係者の皆様へ**

- ・本シンポジウム中の写真及び動画撮影は、冒頭から終了まで可能となっておりますが、事務局からの指示に従い御撮影いただきますようお願いいたします。
- ・取材の御希望がある場合には、上記の「参加申込み」に従ってお申し込みください。
- ・お申込みの際には、報道関係者である旨を必ず明記してください。また、当日は受付に名刺を御提出ください。

## シンポジウム プログラム

※登壇者、プログラムは変更になる場合があります。

### 12:00 【開会挨拶】

### 12:10 【対談「エシカルファッション」】

- 鎌田 安里紗氏（エシカルファッションプランナー）
- 増田 貴史氏（北陸先端科学技術大学院大学 講師）
- 久恒 俊治氏（友禅空間 工房久恒 代表）

### 13:00 【活動発表】

- SDGs Global Youth Innovators（金沢工業大学学生プロジェクト）  
「私たちは私たちの未来を救うために」～これからの世界を担っている  
学生が主体となり、SDGs の考え方を世界中の人に広める～
- 神谷 健司氏（株式会社奥能登塩田村（道の駅すず塩田村） 駅長）  
「伝統製法を支える消費」
- 石川県立翠星高等学校  
「搾汁後果皮の利活用！『廃棄果実0システム』」

### 13:50 【実演「エシカルクッキング」】

- 鎌田 安里紗氏（エシカルファッションプランナー）
- 谷 敬子氏（青木クッキングスクール 主任教諭）

### 14:50 【エシカル宣言、エシカルバトン引継ぎセレモニー、閉会挨拶】

## シンポジウム 参加申込み

ウェブサイト：下記 URL 又は QR コードの応募フォームからお申し込みください。

<https://form.caa.go.jp/input.php?select=1044>

メール：件名は「ラボ申込み」とし、下記の記載事項をお知らせください。

[g.ethical-lab@caa.go.jp](mailto:g.ethical-lab@caa.go.jp)

・氏名 ・年齢 ・性別 ・TEL ・メールアドレス ・所属（学校名、勤務先名）

F A X：下記の FAX 申込欄に必要事項を御記入の上 **03-3507-9259** までお送りください。

**【FAX 申込欄】** ※御記入いただいた団体や個人の情報は、事務局で適切に管理いたします。

ふりがな：					
氏 名：					
年齢：	歳	性別：	男	・	女
TEL：	(	)			
メールアドレス：				@	
所属（学校名、勤務先等）：					



「エシカル消費」とは、消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援したりしながら消費活動を行うこと。2015 年 9 月に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）のゴール 12 に関連する取組です。また、その推進には、ゴール 17 にも示されている多様な主体間のパートナーシップが重要になります。